

市民のひろば

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています



チームメイトや相手チームが注目する中緊張の一打

グラウンドで緻密な頭脳戦

市民ゲートボール大会

市民三橋グラウンドで6月7日、市民ゲートボール大会がありました。この日参加したのは、87歳の最高齢者を含む40人。グラウンドには「こっちを狙って」「ここにボールを置こう」などの声が行き交い、参加者たちは、チームで協力し合って味方のボールを守ったり、相手チームを邪魔したりと頭脳戦を繰り広げました。接戦の末、Aグループは矢留チーム、Bグループは六合チームがそれぞれ優勝を飾りました。

市民協働で水辺を環境整備

蒲池堀割委員会が棚護岸を清掃

蒲池堀割委員会は6月10日、三柱神社西の二ツ川の棚護岸の除草とごみ拾いを行いました。この取り組みは、水辺の安全と環境に配慮した護岸の整備を進めようと同委員会が企画し、今年度の市民協働のまちづくり事業に採択された事業です。この日は同委員会のメンバーのほか、趣旨に賛同した柳川高校野球部の部員も参加。護岸の下に設けられた棚護岸に茂る雑草を刈り取ったり、ごみを拾ったりして、きれいにしました。



清掃活動には柳川高校野球部の部員も協力した



来場者は真勝寺の境内でろうそくに火をともした

電気を消してスローな夜に

燈明の夜 2012 in やながわ

柳川燈明の夜実行委員会は6月16日、真勝寺で「燈明の夜」を開催しました。これは、ろうそくの明かりの中で来場者に震災復興を願ってもらおうと企画されたもの。午前中から震災復興応援イベントとして、東北産の特産品が販売されました。辺りが暗くなると、訪れた人たちは次々とうろうそくに火をともし、200本以上のろうそくで同寺の本堂前は幻想的な雰囲気になりました。ゲストのゴスペルシンガー、ダニー馬場さんの演奏と歌声を聞きながら、来場者はキャンドルナイトを楽しみました。

プロ棋士と愛好家が交流

大淵盛人九段が東宮永公民館で囲碁指導

西蒲池出身で囲碁のプロ棋士である大淵盛人九段（46歳）が6月9日、東宮永公民館で柳川やみやま、大牟田の囲碁愛好家、約30人に指導し、交流を深めました。大淵九段が地元柳川で市民との交流を希望していることもあって、日本棋院筑後地区支部の招きで実現しました。大淵九段は20歳代から80歳代の愛好家に指導。一度に5人と対局する5面打ちで行いました。休むことなく碁石を置く大淵九段とは対照的に、愛好家は手が止まる場面がしばしばあり、プロとの差を感じていました。



5面打ちで愛好家と対局した大淵九段（右）

絵を描くことを通じて豊かな心を

柳河小学校 図画講習会

6月から市内の小学校で図画講習会が始まりました。柳河小学校は、6月14日に実施。1年生から4年生は本物の魚やカニなどの静物画、5、6年生は同校教諭らをモデルにした人物画を描きました。同校を担当した講師の田島新一郎さんと北原良一さん、池田茂さんは、「もっと大きく描いたほうがいい」「この色を重ねてごらん」などと児童たちにアドバイス。児童たちは、題材の特徴をとらえようと真剣なまなざしで観察し、大きさの違いを強調するなど、個性あふれる絵を完成させました。



魚の特徴をよく観察して絵を描く児童

水も人もキラリ 川柳

今月の入選作品・課題「食う」

唇ごはん笑顔になった老い二人 佐藤良子（蒲生）

来し方を振り返ってみればほんとうに色々あった。生きていくために時には争いながらも二人で切り開いてきたこの道。今、何ごとも笑顔で話せる唇ごはんのひととき。まるで川底の石のようなまん丸くなった二人でもある。 流青

- | | |
|---|--------------|
| わけあおうご飯を食えるよろこびを
話し合い相手の意見に食いさがる
ありは食うあまいものならいくらでも
給食はみんなで食うとおいしいな
遊んでもちゃんと三度の飯は食う
喰放題という言葉のあさましき
汽車の旅駅弁買って土地を食う
はったい粉食うてばくはつ孫の顔
配給米飢えをしのいだ日は夢か
割り箸の割る音小粋そばを食う
身すこやか三度の食事うまかりし
食うために一途に動く蟻の列
駅弁を食うてはしゃいだ汽車の旅
菜園を狙うカラスと知恵くらべ
旨かった競って食べた麦シヤツパ
夕焼けと道草食って帰る道
草を食む春駒かける草千里
食う美味いこれが一番生きてる
鰻飯食う喜びも生きてこそ
芋南瓜食ってつないだこの命
人を喰う話しに皆んなおどらされ | 田上雄大 (中島小5年) |
| 松藤晴香 (中島小5年) | |
| 堤 達一 (中島小5年) | |
| 藤野 廉 (中島小5年) | |
| 佐田輝喜 (明野) | |
| 重松秀秋 (萩屋町) | |
| 椋島忠常 (南浜武) | |
| 池田美幸 (佃町) | |
| 黒田和代 (吉富町) | |
| 甲木幸栄 (蟹町) | |
| 西田トミ子 (中島) | |
| 古賀麗子 (吉原) | |
| 西山幸子 (垂見) | |
| 梅崎由美子 (七ツ家) | |
| 吉開綾子 (筑紫町) | |
| 山田美代子 (下宮永町) | |
| 石川百合子 (材木町) | |
| 大橋ミヨ子 (六合) | |
| 坂田洋子 (上宮永町) | |
| 野片義博 (隅町) | |
| 野口美恵子 (上宮永町) | |

川柳を募集しています。選句者は梅崎流青さん。8月の課題は「音」です。入選作品は8月1日号に掲載します。

●応募方法 川柳と明記し、自作、未発表の作品（※1人3句以内）に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係（☎77・8425、FAX 74・5520）へ、7月15日（※必着）までにお送りください。

骨の音させて魚が乾ききる

流青